

▼強田純子議員

支援学級の見直し

議員 文科省は支援学級の授業時間を原則半数以上とし、支援学級に入りやすくしています。学びの場の変更は保護者の合意なしに進めるべきではないと考えますが、見解を伺います。

答弁 保護者の意向を踏まえ、丁寧に検討します。

議員 市教育委員会は、支援学級の教員、支援員を増やすなど、教育環境充実に努めてください。

▼五十嵐秀城議員

学校図書館の今後

議員 司書教諭を中心とした新たな推進体制として、週4日、中学校区への配置を検討している学校司書の役割について伺います。

答弁 司書教諭の業務補助や教員の資料相談等を行う予定です。特に中学校では開館日の拡充が見込まれ、蔵書の有効活用や9年間で見通した学校図書館を活用した教育が更に充実すると考えています。

▼笹内和志議員

加齢難聴等支援策は

議員 加齢性難聴についての本市の見解は。

答弁 認知症発症リスクとの関係も指摘されていることから進行を遅らせる取り組みが重要と考えています。

議員 比較的軽度の難聴の市民の方を早急に掌握し、補聴器購入費助成や民間無料アプリを利用した施策等、市独自の支援策「高槻モデル」の創設を要望します。

▼高木隆太議員

紙パックリサイクル

議員 年間約46トンの学校給食の牛乳パックリサイクルの状況を伺います。

答弁 手洗い場の集中や教職員の補助などの課題が判明し、現在実施している学校はございません。

議員 予算化してリサイクルを実施し、ストローレスの牛乳パックも導入すべきではないでしょうか。
答弁 実施方法を研究し、他市の動向を注視します。

▼川口洋一議員

時代に即した校則に

議員 生徒指導提要改訂を受けての校則見直しは子どもの権利条約を踏まえるべきと考えますがいかがが。

答弁 生徒指導の目的は子どもの権利条約を踏まえ児童生徒が自他の権利を守り、責任のある大人へと育てることであります。

議員 各学校が校則の見直しをスムーズに実施するための指針を、教育委員会がぜひ示してください。

▼平田裕也議員

水道事業

議員 今後の経営の見通しは。

答弁 水道施設の更新費用など支出は大きく増加する一方で、主な収入源である水道料金は大きく減少し、非常に厳しい財政状況を見込んでいます。

議員 厳しい経営をしていくためには市民の理解が欠かせません。経営状況や今後の見通しなど積極的に情報発信をしてほしい。

▼北岡隆浩議員

宗教団体との関係

議員 寄付の受領等の際、宗教団体か否か実際は把握しているのではないですか。

答弁 受領の際等に属性等で区別は行っていません。議員 昨年12月に宗教法人から寄付を受け、濱田市長自らが市役所で面会してお礼をしたと、ツーショット写真が市のHPに載っています。なぜとぼけるのですか。市職員にレリハラの研修を行ってください。

▼三井泰之議員

いじめ相談

議員 児童生徒に配付のタブレット端末を活用したいじめ対応の取り組みは。

答弁 端末のデスクトップに、「はにたんの子どもいじめ110番」のアイコンを貼り付け、相談をしやすいとしています。

議員 タブレット端末のアイコンに、いじめや家庭内の悩みなどの内容を入力できるなど相談機能の充実に努めてほしい。

▼吉田忠則議員

高台避難の整備拡充

議員 民間事業者等との防災協定の状況は。

答弁 水害時の一時的な避難場所として複数事業者と締結しています。議員 来年1月の市全域大防災訓練では、高台避難も訓練に入れてほしい。(仮称)市民防災協議会に期待していることは。

答弁 防災活動サポート役、行政と協働で地域防災活動の推進役を期待します。

▼中村玲子議員

小学校の給食費を来年度以降も無償に

議員 中学校給食費の無償化に続き、小学校の給食費を来年度以降も無償にすることが必要です。市は検討する考えはあるのですか。

答弁 教育費に占める給食費の割合は高く、子育て世帯の家計に占める割合も大きいと認識しています。議員 市が独自に小学校給食費の来年度以降の無償化を検討してください。